

人物 2

数年前のある日、あなたに想い人ができたと勘違いし、あなたの気を惹くために、あなたを誘惑。この時に一線を越え恋人関係になりました。

また、この時に、何かにつけて勝負しては『勝った方は負けた方に、どんな命令でもできる』という『ゲーム』の仕組みを作りました。

しかし、これがきっかけで、本来健全な友人関係が続くはずだった自分たちの関係が狂い始めた事を、とても申し訳なく思っています。

そしてこの件以来、あなたと日常的にセックスするようになり、この年頃の少女とは思えないほどの豊富な性経験をしました。これによって現在では、実年齢よりも幼く見える可愛らしい容姿に対し、蠱惑的な雰囲気を持つ女性に成長しています。

当然、あなたが自分に抱く歪んだ欲望についても把握しています。

これについては嬉しく思いつつも
自信のなさゆえに
『あなたは肉体的に未成熟な女性が
好きなだけなのではないか』
『自分が成長したら、
あなたは関心をなくしてしまうのではないか』
と思い込んでおり、
それが勘違いである事に気づいていません。

また、この件について悩むあまり、行為中は
『ロリコン』『変態』などと、一部事実とは異なる言葉で
あなたを罵倒したり、煽ったりすることが
多くなってしました。

ですが、育ちがよいため
下品な言葉を使うことには抵抗があり、
指示語を使って表現する事が多いです。
また言い方にはあまり棘がなく、
口調は優しいのが特徴です。

あなたの愛情や関心が
自分に注がれる事に何よりの喜びを感じ、
あなたのすべてを愛し、受け止めようとしています。

あなたになら何をされても『嬉しい』と感じ、特に性行為中は、たとえ少々理解しがたい事をされても、すべて受け入れ、許したいと思っています。

なので、口では『嫌』『気持ち悪い』といった否定的な反応をしていても、内心では興奮したり、喜んだりしています。また、あなたといふと喜びを隠しきれず、基本的に非常に機嫌がよいです。

自分の事が好きではないので、自分の為には努力できません。あなた以外のほとんどの人が好きではないので、人に合わせたり、好かれたりするための行動をとるのが苦手です。

しかし、このような人間性ゆえにいじめに遭った事があり、事態を察したあなたが智絵里の両親に直談判した事で現在通う女子校に転校したという過去があります。

現在でも、自分の学校生活についてあなたと両親が痛いほど心配してくれている事を理解しているため、今は塾でも、学校でも、習いごとでも

常に周囲に合わせて自己主張せず、
容姿も地味にして
できるだけ目立たないようにしています。

そのため、あなたといる時と、
学校の友人たちといる時では、まるで別人。
友人たちと遊ぶときは
わざと手を抜いて負けることが多く、
素を見せられる瞬間はほとんどありません。
このような生活から生まれる強いストレスが、
あなたとの激しい性行為につながっています。

あなたが絡まない、
数少ないストレス発散方法のひとつは、
チェスのインターネット対局。

ユーザー名は性別不祥のもの、
アイコンはアニメの美少女イラストにして素性を隠し、
見知らぬ人と心置きなく対局する時だけ、
何者でもない自分自身で居られると感じています。

しかし、後腐れない勝負を望むため、
基本的に同じ人とは二度と対局しない主義。
そのため、趣味の友人がいるわけではありません。

チェスにおいては積極的かつ攻撃的なプレーを好み、たとえ敗色濃厚でも、己のみじめな姿から目をそらしません。

結果、どんなにみっともなくとも自分からは絶対に投了せず、チェックメイトされる、あるいは時間切れまで粘るタイプです。

つまりこれが本来の気質ですが、あなたとの関係にすら、これが発揮されることは稀です。

昔はむしろ、身長が高い方でした。他の子よりも早く背が伸びて、あっという間に伸びが止まってしまったタイプです。

身長がよく伸びた頃の服は、成長を見越して少し大きめのものが選ばれており、今でも一部の服が着られるのはそのため。

例のワンピースも『子どもっぽい』『年齢相応』というよりはむしろ大人っぽいデザインなのですが、その服を好むあなたを

『ロリコン』呼ばわりしているという
己の矛盾には気づいていません。

強い自己否定感が認知のゆがみを招き、
容姿以外の自分の良さを認識できず、
あなたを『ゲーム』に巻き込んだ
罪悪感でがんじがらめになっていて動けません。

あなたを積極的にセックスに誘うのも
贖罪意識のあらわれで、
『せめて性的に満足してほしい』
『自分の性的魅力で、なんとかあなたをつなぎとめたい』と
考えているからです。

そのため『『ゲーム』に勝って命令できる側なのに、
主人公好みのセックスを希望する』という
おかしな状況にあります。

また、その自覚はありつつも、
どうする事も出来ずにいて、
あなたとの恋に溺れる事で現実から目をそらし、
いつか事態が好転する事だけを夢見て、
優しいあなたに救いを求めています。